

九州産業大学大学院

KYUSHU SANGYO UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL



令和2年度 研究成果発表会

日本におけるベトナム人技能実習生の実態と問題点

前期博士課程

経済・ビジネス研究科 経済学専攻

NGO THI NHUNG

主査 中原裕美子
副査 黄完晟
郭智雄

研究の背景

- 少子高齢化が進行し、生産年齢人口が減少しているなかで、日本で就労する外国人の数は年々増加の一途をたどっている。
- その中でもベトナム人は、中国人に次ぐ数で、外国人技能実習制度により就労しているケースが多い。
- しかし、この制度は、極めて問題点が多い。
- この、外国人に日本の技術を学ばせることを目的とした制度を悪用し、技能実習生という名目で外国人を受け入れ、少額の貸金で就労させているケースが数多く見られる。

研究の目的

そこで、本論文においては、外国人技能実習制度全体について見たのちに、この制度で多く就労としているベトナム人を取り上げ、外国人技能実習制度におけるベトナム人の就労の問題点について、ベトナム人技能実習生や雇用企業、そしてベトナムにおける仲介業者等へのインタビュー調査を元に、明らかにしていく。

研究概要1

- まず、本論文に関連する先行研究を見ていき、本論文の視角を設定した。
- 次に、外国人労働者の背景と現状について見た。政府が外国人労働者の受け入れを拡大した理由としては、少子高齢化に伴う労働者不足の問題が挙げられる。
- 少子高齢化が進行し、生産年齢人口が減少しているなかで、日本で就労する外国人の数は年々増加の一途をたどっており、その中でもベトナム人は、中国人に次いで大きなプレゼンスを占めていることが明らかになった。

研究概要2

- そして、ベトナム人技能実習生の実態と問題点を、現地調査をもとに分析した。
- 多くは貧しい地域の出身で、出発前に高額な費用を負担し、詐欺、搾取、の犠牲者になっているようである。ブローカーを通じて採用されていることが多く、労働者の借金は、平均すると100万円以上にもなることが明らかになった。
- また、漢字圏等からの外国人に比べ、日本語の問題が大きいこともわかった。

研究概要3

- さらに、外国人技能実習生の制度と問題点についての分析を行った。本来「国際協力・貢献」のための制度である技能実習制度が、日本の労働者不足を補うための制度として利用されていることが、根本的な問題であった。
- 個別の問題点は多岐にわたり、低賃金、長い労働時間暴行や脅迫、セクハラ、パスポートや在留カード取り上げといった人権侵害も相次いでいることが明らかになった。

研究成果・まとめ

- 外国人技能実習生、ひいてはベトナム人技能実習生の急増に伴い発生している様々な問題の解決には、日本側・ベトナム側、双方の政府が介入し、より実効性のある改善への取り組みを行っていくことが求められるであろう。
- また、悪質ブローカーの排除は、極めて重要であると考えられる。
- 技能実習制度の問題点を受けて2018年に新しく導入された在留資格である「特定技能」は、解決策の1つとなり得る。

指導教員コメント

本研究は、外国人技能実習制度全体をみたのちに、その制度で多く就労しているベトナム人を取り上げ、技能実習制度におけるベトナム人の就労の問題点について、多くのインタビュー調査を元に明らかにした、意義のあるものである。

中原裕美子